

## 令和元年・2年度 川越市地域自立支援協議会 各部会 活動方針

部会名 仕事・活動部会

就労支援における体制整備については障害者の就労の可能性を広げるような就労機会の確保、利用者に応じた適切な就労支援の実施、一般就労後の職場定着のための支援の充実等、障害者就労の様々な課題について、引き続き検討をしていきたい。

また、「余暇活動・集いの場“サロン”等の交流活動の推進」については出会いの機会などを目的とした“お試しカフェ”を開催している委託相談や障害福祉サービス事業所と共に、恒常的に開催していける方法を協議し、障害者の余暇又は集いの場の充実が図れるよう継続検討課題としたい。

部会名 まちづくり部会

引き続き基幹型センターを中心とした相談支援体制の整備に注力を注ぐことになるが、地域生活支援拠点の体制整備を進め、より効果的なものとする必要がある。主任相談支援専門員と基幹相談支援センターとの責務を明確にしながらも、計画相談支援における児童のセルフプランの解消に課題感を持ちながら、より一層の地域づくりについて検討を進めたい。

部会名 こども部会

今までの取り組みを継続することを念頭におき、主として、「支援者に対する研修会の実施」と「切れ目のない支援体制の整備（相談支援ファイルの促進等）」を掲げて取り組んでいく。研修会については、引き続き、「埼玉医科大学総合医療センター」との協力体制のもとに、新たな視点も加えた中で、研修対象者や企画内容の検討を進めていく。また、切れ目のない支援体制の整備については、「県立川島ひばり特別支援学校」の協力体制のもとに、相談支援ファイルの活用など、次のステップに向けて取り組みを進めていく。

部会名 地域移行部会

引き続きモデルケースの支援を継続しながら、以下の3点について検討を重ね、場合によっては必要な関係者の参画を促していきたいと考える。

- ①精神障害者にも対応した包括ケア体制の構築の検討
- ②グループホームなど居住型の社会資源の検討
- ③地域定着の課題の整理

（相談支援センターにおける退院、地域移行ケースのデータ整理など）